

2 食育の推進に向けた取組

(2)食を通じて家族や地域の繋がりを深め、豊かな心を育みます。

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や仲間、地域の人々等と助け合い、協力し、食を通じて繋がりを深めます。</li> <li>・関係課、関係団体、市民のネットワークを広げ、連携、協力して食育に取り組む事業を支援します。</li> <li>・協働事業として、地域での食育事業の提案を募集し、活動を支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係課、関係団体、市民のネットワークを広げ、連携、協力して食育に取り組む事業を支援します。</li> <li>・協働事業として、地域での食育事業の提案を募集し、活動を支援します。</li> </ul>	狭山市ビジネスサポートセンターにおいて、食育に取り組む事業等を支援していきます。	狭山市ビジネスサポートセンターにおける相談件数(飲食業・農林水産業):120件	5	産業振興課	実施していない
	市内で行われるイベントで、地場産物を取り扱う事業者イベントへの出店機会を与え、製品の販売促進及びPRを行います。			イベント回数1回 商工祭・参加者数約6,000人	4	商業観光課	実施した	
	子どもたちが土と親しみながら作物を育て、その収穫の喜びを味わうなど、体験を通じ、農業の大切さを実感できるよう、保育所、幼稚園、小中学校において、農業体験事業を実施します。			学童農業体験事業実施校数 ・13保育所 ・1幼稚園 ・16小学校 ・7中学校	4	農業振興課	実施していない	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の納品業者を選定し、地域で連携して食育に取り組んでいます。</li> <li>・みのり福祉会からパンを納品し協力して食育に取り組んでいます。</li> <li>・地域の人々からの野菜提供の際は、献立変更届やクッキング届を提出してもらい園児に体験・試食できるよう配慮しています。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・午後のおやつ用のパンを福祉施設から購入</li> <li>・献立変更・クッキング体験</li> </ul>	4	保育幼稚園課	実施していない	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康と食に興味や関心をもつため、地域の畑を借りての畑活動やプランターで野菜を育て、クッキング保育などを体験しています。</li> <li>・地域のボランティアの方と一緒に畑やプランターで栽培を行い、交流を深めながら様々な野菜(いちご、じゃがいも、ニンジン、ナス、大根等)の生長に興味を持てるようにしています。又自分達の育てた野菜を収穫したり、クッキングをしたりする事で、野菜本来の美味しさを感じたり、生産者や調理する人への感謝の気持ちをもてるようにしています。</li> <li>・クッキング保育を行った際には、畑のボランティアの方や異年齢クラスに振る舞い、交流を深めています。</li> <li>・種まきや収穫、クッキングの様子をポートフォリオ、ドキュメンテーション、クラス便りなどで保護者に発信しました。</li> <li>・園庭開放事業の中で、保育所での給食の見本をみせたり、食に関する質問に答えたりする中で、保育所を知ってもらい繋がりを深められるように努めました。</li> <li>・ボランティアの方と福を使った正月の絞め縄作りを行うことで、日本の伝統行事への興味に繋がりました。</li> <li>・収穫物や畑の活動をまとめたものを農業祭にて展示しました。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年(季節に合った野菜の栽培、クッキング)</li> <li>・地域の畑・プランター収穫(ジャガイモ、トマト、ブロッコリー、大根、オクラ、トマトなど)</li> <li>・クラスだより、ポートフォリオなど 随時</li> <li>・農業祭参加</li> </ul>	5	保育所	実施した	
	5歳児が栽培した野菜を使ってカレー作りをします。包丁を使用するため、保護者に見守ってもらい友達と一緒に料理をする楽しさを味わうとともに、4歳児と地域の方にカレーを振る舞い、食を通じてつながりを深めます。			全園児対象 保護者8名 学校評議員6名	4	入間川幼稚園	実施していない	
	・昼食時は、友達と楽しい雰囲気です。食事をとれるようにし、友達同士の繋がりを深めます。			園児対象 昼食時実施	4	水富幼稚園	実施していない	
	社会交流等が必要な方に、「狭山市地域資源情報サイト」等を活用しサロン等を紹介します。			地域包括支援センターや 居宅介護支援事業所等 のケアマネジメントにおいて、必要に応じて随時実施。	4	介護保険課	実施していない	

2 食育の推進に向けた取組

(2)食を通じて家族や地域の繋がりを深め、豊かな心を育みます。

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
全体	16			健康(=Wellness)を目指す過程(=Journey)を表現した「さやまウェルネスジャーニー」の取組を通じて、地域の人々が共に食生活等を学ぶことができる場を提供します。	健康マイレージ登録会54回 SAYAMA Wellness Journey(さやまウェルネスジャーニー)3回	4	健康づくり支援課	実施した
				保健センターが事務局となり、保健センター、学校給食センター、保育幼稚園課に所属する栄養士で構成する狭山市栄養士連絡会議にて実施します。	会議年3回	5	保健センター	実施していない
				社会教育関係団体等と連携を図り、食育事業の促進に取り組みます。	該当なし	1	社会教育課	実施していない
				【1】 田植えから稲刈り、実食までの年間を通じてお米に向き合う「奥富の田んぼ1年プロジェクト(共催: 柏原公民館)」を開催し、①手植えによる田植え体験②鎌での稲刈りと、藁を使ったかかし作り③鎌での稲刈り体験と炊き出しで実食し、米をプレゼントしました。 開催にあたり、田地権者・耕作者、農業生産者、青少年育成奥富地域会議、奥富小学校及びPTA等の協力、奥富地区自治会連合会等の後援を受けました。 【2】 奥富地区在住の方に菓子パン作り教室の講師を依頼、また、講座の運営に公民館事業運営委員の協力を得て、参加した小学生との異世代地域交流を図ります。	【1】 ①田植え体験 参加者15名 ②稲刈り体験&かかし作り 参加者25名 ③稲刈り&炊き出し実食 参加者32名 【2】 菓子パン作り教室1回開催 講師1名、事業運営委員2名、参加者10名	5	奥富公民館	実施していない
				①トルコ料理を楽しく学習し、仲間づくりや家族との交流に役立てました。 ②韓国料理を楽しく学習し、仲間づくりや家族との交流に役立てました。	事業名① 異食文化料理教室 (トルコ料理) 対象者 成人一般 参加者数 15名 事業名② 異食文化料理教室 (韓国料理) 対象者 成人一般 参加者数 15名	5	新狭山公民館	実施した
				地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、地域の大人と子どもと一緒に食事をしながら世代間交流を図り、正しい食卓のルールやマナーを会食する機会を提供します。	WAKU☆DOKIはっぴーを 実施 水富公民館会場 11回/年 広瀬公民館会場 8回/年	5	水富公民館	実施した
				講座などを実施する際に、地域の団体などと連携、協力して事業を実施することで、食育に取り組む事業を支援します。	・お茶の楽しみ方エトセラ (お茶の効能や気軽な楽しみ方、お茶を使った料理の紹介・実習) 2回 ・介護予防講座 1回	3	中央公民館	実施していない
				地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、地域の大人と子どもと一緒に食事をしながら世代間交流を図り、正しい食卓のルールやマナーを会食する機会を提供します。	WAKU☆DOKIはっぴーを 実施 水富公民館会場 11回/年 広瀬公民館会場 8回/年	5	広瀬公民館	実施した

2 食育の推進に向けた取組

(2)食を通じて家族や地域の繋がりを深め、豊かな心を育みます。

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
				食育として子どもたちに、野菜の種まき・苗植え～畑の維持～収穫までを体験してもらいます。地域のボランティアと協力して実施します。	水野キッズファーム 18回 205人	5	水野公民館	実施していない
				楽しく料理を学習し、仲間づくりや家族との交流に役立てます。	料理で楽しく学ぶ！子ども料理教室1回 異食文化料理「トルコ料理」1回	5	狭山台公民館	実施した
				小・中学校とも給食指導を通して、主食・主菜・副菜をバランス良く食べることを指導します。また、小学校では栄養教諭及び学校栄養職員と担任が連携を図り、発達段階に合わせた栄養のバランスについての正しい知識を習得させるとともに朝ごはんの大切さについて指導を行います。	全小中学校23校で推進	4	教育指導課	実施していない
				小・中学校とも給食指導を通して、主食・主菜・副菜をバランス良く食べることを指導します。また、小学校では栄養教諭及び学校栄養職員と担任が連携を図り、発達段階に合わせた栄養のバランスについての正しい知識を習得させるとともに朝ごはんの大切さについて指導を行います。	全小中学校23校で推進	4	学校	実施していない
				PFI(包括委託の民間事業者、県栄養士、小中学校等と連携し、児童生徒とその保護者を対象とした食に関するイベントを実施し、食育の推進に取り組めます。	「大きな釜で給食づくり体験」(内容:調理場内の見学、とうもろこしの皮むき体験、野菜の洗浄体験、切裁機を使った野菜切裁の見学、釜での調理体験、鶏ガラスープと和風だしの試飲、とうもろこしの配缶体験、野菜の温度計測体験、給食の試食)を開催した。参加数11組23名。	5	給食センター	実施した

2 食育の推進に向けた取組

(2)食を通じて家族や地域の繋がりを深め、豊かな心を育みます。

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
乳 幼 児 期	17	・声をかけながら楽しく食事を します。	・給食や乳幼児健診等におい て、食を通じたコミュニケーション の大切さを伝えます。	・食べ物に興味関心がもてるように、絵本や玩具などを使い、食を 身近に感じられるようにしています。 ・「おいしいね」「よく噛んで食べようね」等と子ども達の様子を見な がら声をかけるように努め、一緒に献立メニューや食材を確認した りしながら旬の食材や様々な食材に興味をもち、楽しい食事の雰 囲気の中でコミュニケーションを図っています。 ・食材に関しても、野菜の名前を伝えたり、料理名を伝えたりしなが ら、食に興味を持てるようにしています。 ・献立見本を事務所前に置くことで、食事を楽しみに過ごしたり、親 子で食についての会話が増えたりしています。 ・異年齢やボランティアの方と会食を行ったり、部屋に行事や季節 に合った飾りつけをしたりし、楽しい雰囲気の中で食事を行う機会 を設けています。	・絵本(いただきます、こくま ちゃんのホテルケーキなど) ・パネルシアター(カレーライ ス、ミックスジュースなど) ・会食は幼児クラス対象	5	保育所	実施した
				マタニティスクール、ばくばくベビー、乳幼児健診時の離乳食講習 会・食育講習会、乳幼児の依頼健康教育にて実施します。	マタニティスクール(6回67 人) ばくばくベビー(6回52人) 離乳食講習会(乳幼児相談 時12回延べ186人、4か月児 健診時15回334人) 食育講習会(1歳6か月健診 時16回833人、3歳児健診時 16回890人) 依頼健康教育(8回63人)	5	保健センター	実施していない
				毎日の保護者手作りのお弁当を、教師や友達と一緒に食べなが ら、コミュニケーションの楽しさを伝えます。また、食事中のマナー や食事の意味、食材や作ってくれる人への感謝の思いが持てるよ うにします。	全園児対象 昼食時実施日数150日	4	入間川幼稚園	実施していない
				・昼食時、友達と会話を楽しみ、コミュニケーションをとり、楽しい雰 囲気で食事時間を過ごすことを体験します。	園児対象 昼食時実施	4	水富幼稚園	実施していない
学 童 ・ 思 春 期	18	・食べる時間を大切にし、味 わって食べる習慣をついま す。	・学校教育を通じて、家族そ ろって食事をする大切さを各家 庭の実情に配慮しつつ指導し ます。 ・給食の時間、学級活動、道徳 等において食の指導を行います。 ・家族等と一緒に食べる大切さ について、小・中学生と保護者 に向けて啓発します。	リーフレットの配布やデジタル連絡ツールの配信により、児童と保 護者へ情報提供、啓発を実施します。また、児童の夏休み期間に 学習の場を提供します。	朝食啓発リーフレット(小学1 年生、小学5年生、中学1年 生) 食事づくりリアップリーフ レット(小学3年生、中学1年 生) 子どもお弁当教室(3回42 人)	5	保健センター	実施していない
				特に給食の時間が楽しく和やかな会食となるよう指導を推進しま す。 授業や学校教育全体を通じて、食の指導を推進します。 また、保護者にも懇談会・家庭教育学級等を通じて食事の時間の 重要性を伝えます。	全小中学校23校で推進	4	教育指導課	実施していない
				特に給食の時間が楽しく和やかな会食となるよう指導を推進しま す。 授業や学校教育全体を通じて、食の指導を推進します。 また、保護者にも懇談会・家庭教育学級等を通じて食事の時間の 重要性を伝えます。	全小中学校23校で推進	4	学校	実施していない
				小学校2、3年生対象で給食時間に食に関する媒体を使用し、食 育の推進に取り組みます。	給食時間に栄養士と民間 事業者の調理員が市内 小学校を訪問し、2年生 に『いただきます ごちそ うさま』3年生に『なぜた べるの』の紙芝居を使用 し食育を実施。	4	給食センター	実施していない

2 食育の推進に向けた取組

(2)食を通じて家族や地域の繋がりを深め、豊かな心を育みます。

ライフ ステージ	No.	市民に期待すること (市民の行動目標)	市の支援策	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和6年度評価		関係部局	アンケートの 実施
					R6年度の対象者、事業名、 参加者数や事業実施回数 等の実績数	達成度 5点満点		
青壮 年期、 高齢 期	19	・家族や友人・知人と一緒に 楽しく食事をする機会を作ります。	・地域で行っている食事会やサ ロン等、他者と楽しく食事がで きる場所を増やすとともにその 周知を行います。	茶話会や食事会等を実施している「いきいき百歳体操」グループ等 の把握や「狭山市地域資源情報サイト」等の活用を地域包括支援 センターや居宅介護支援事業所等の相談支援機関等に情報提供 します。	いきいき百歳体操活動状 況調査 1回	4	介護保険課	実施していない
				健康(=Wellness)を目指す過程(=Journey)を表現した「さやま ウェルネスジャーニー」の取組を通じて、他者と楽しく食事を取るメ リット等を啓発していきます。	健康マイレージ登録会54 回 SAYAMA Wellness Journey(さやまウェルネ スジャーニー)3回	4	健康づくり支援課	実施した